
中国情報（砂糖）

2010年5月20日号

©2010年4月における中国の砂糖類市場観測情勢

【中国農業部】

中国農業部は先ごろ、2010年4月における中国の砂糖類市場情勢の分析結果について発表した。その概要は以下のとおりである。

※ この記事は、中国農業部の了解を得て、独立行政法人農畜産業振興機構が翻訳提供しているものです。内容の一部または全部を転載等する場合は、資料元が当機構によるものである旨を必ず明らかにして下さい。

1 国内砂糖価格は小幅下落

国際価格の大幅下落を受け、4月の国内価格は8カ月に及ぶ上昇から小幅下落に転じた。4月の国内さとうきび価格は前月比2.9%安の1トン当たり5101元(前年同月比43.9%高)となった。先物相場については、鄭州市場4月限の平均価格が前月比0.71%高の同5257元となった。

2 国際砂糖価格は引き続き大幅下落

米ドル高、ブラジルおよびインドの生産増加を受け、4月の国際価格は引き続き大幅下落となった。4月におけるニューヨーク粗糖相場月平均価格は前月比20.3%安の1ポンド当たり15.46セント(前年同月比18.7%高)となった。

3 内外価格差は引き続き縮小

2010年4月の砂糖輸入について、珠江三角洲（広州、香港、マカオ、深圳などを含む珠江河口の中国の一大経済圏）の通関後価格（C I F + 関税等）は、1トン当たり5190元となった。国内甘しや糖主産地の卸売価格と比べ同89元高いものの、国内外の価格差は前月に比べ同105元縮小した。

4 3月の砂糖輸入量は大幅増加

海関統計によれば、2010年3月の輸入量は前月の11.1倍の7.4万トンとなった。

2010年第一四半期の輸入量は前年同期比71.7%減の8.9万トンとなり、2010年の輸入割当数量194.5万トンの4.6%を占めた。輸出量は3.4万トンと、前年同期の2.5倍となった。

5 2010/11年度の国際砂糖需給は供給過剰の可能性

2010/11年度はブラジル、インドなどで生産回復により増産が予測されることから、世界の砂糖供給は需要を上回ると見込まれる。